

平成 29 年 11 月 8 日 (水)
愛知県公立大学法人愛知県立大学学務部学務課
担当 市川
ダイヤル 0561-76-8832
愛知県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室
多文化共生推進グループ
担当 大橋・漆畑 内線 2396・2397
ダイヤル 052-954-6138

シンポジウム「医療現場での外国語コミュニケーション支援に向けて」 を開催します

在住外国人の増加に伴い、医療現場での通訳の必要性が高まっています。愛知県では、平成 24 年度に「あいち医療通訳システム (AiMIS)」をスタートし、医療通訳者派遣等のサービスを提供しておりますが、今後、様々な意見を聞きながら、本システムをより一層充実させることを目指しています。

そこで、このシンポジウムでは、医療通訳の第一線で活躍されている皆様から、現状や課題を御紹介いただき、現システムの具体的な改善につなげてまいりたいと考えております。医療機関関係者を始め、多くの方に御参加いただき、外国人が安心して暮らせる環境の整備について考えていきます。

- 1 日 時 平成29年12月17日 (日) 午後1時から午後4時15分まで
- 2 場 所 名古屋国際センター別棟ホール (名古屋市中村区那古野 1 丁目 47 番 1 号)
- 3 内 容
 - (1) 基調講演 「日本の医療通訳のゆくえ ～医療通訳の現状と課題～」
多文化共生センターきょうと 代表理事 ^{しげの あぐり} 重野 亜久里 氏
 - (2) パネルディスカッション
パネラー：^{あさの てるこ} 浅野 輝子 氏 (名古屋外国語大学現代国際学部 教授)
カサノバ エクトル 氏 (産婦人科医師)
^{かつ とうばい} 葛 冬梅 氏 (中国語医療通訳者、東海外国人生活サポートセンター)
^{くろだ かおるこ} 黒田 薫子 氏 (スペイン語医療通訳者)
^{こまつ まりな} 小松 麻利奈 氏 (豊橋市民病院医療通訳者)
コーディネーター：^{いといがわ みき} 糸魚川 美樹 氏 (愛知県立大学外国語学部 准教授)
- 4 定 員 150 名 (参加費無料)
- 5 主 催 愛知県立大学、あいち医療通訳システム推進協議会
- 6 申込方法 所属、氏名、連絡先、通訳を利用される方は利用言語を記載の上、Eメール又は FAXでお申込みください。(申込期限：平成 29 年 12 月 15 日 (金) (必着))
(申込先：愛知県立大学 学務課
Eメール：com-medico@bur.aichi-pu.ac.jp FAX：0561-64-1105)
※定員に達し、御参加いただけない場合のみ、御連絡いたします。
- 7 その他 詳細につきましては、別添のちらし又は以下の Web ページを御覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/iryotsuyakusymposium.html>)

<参考>

「あいち医療通訳システム」(AiMIS) について

1 システムの概要

- 医療機関等からの依頼により、次の3つのサービスを提供しています。

通訳派遣	大学と連携して養成した医療通訳者の派遣
電話通訳	24時間365日対応の電話通訳
文書翻訳	転院先病院への紹介状等の翻訳

- 対応言語は、現在、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語（電話通訳は、韓国・朝鮮語も対応）
- 平成24年度からサービスの提供を開始

2 運営主体

名 称	あいち医療通訳システム推進協議会	
構成 【64団体】	医療関係 団体	(公社) 愛知県医師会、(一社) 愛知県病院協会、 (一社) 愛知県歯科医師会、(一社) 愛知県薬剤師会、 (公社) 愛知県看護協会
	大学	愛知県立大学、愛知大学、名古屋外国語大学、 名古屋学院大学
	行政	県内全市町村、県（県民生活部、健康福祉部）

3 実績

(件数)

	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	通訳 派遣	電話 通訳	翻訳	通訳 派遣	電話 通訳	翻訳	通訳 派遣	電話 通訳	翻訳
英語	144	116	24	170	89	31	295	150	39
中国語	108	80	6	153	125	6	219	111	14
ポルトガル語	336	148	7	403	148	9	511	156	8
スペイン語	188	80	3	198	109	6	204	49	11
フィリピン語	15	16	2	58	17	4	50	76	5
韓国・朝鮮語	-	1	-	-	0	-	-	1	-
計	791	441	42	982	488	56	1,279	543	77

4 その他

システムの利用方法等、詳細につきましては以下の Web ページを御覧ください。
(<http://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com>)

シンポジウム

当日は
4言語の通訳
コーナーを用意
しています。

英語・中国語・
ポルトガル語・
スペイン語
要事前申込

医療現場での 外国語コミュニケーション支援に向けて

愛知県立大学 × あいち医療通訳システム推進協議会 共催

日時 平成29年12月17日(日) 13:00~16:15

会場 名古屋国際センター別棟ホール 定員 150名 | 参加無料 |

医療通訳の重要性やニーズが年々高まっています。愛知県では「あいち医療通訳システム(AiMIS)」がスタートしてから5年がたち、病院等における年間利用実績は1800件を超えています。外国人の方が安心して医療を受けられる環境を整備することを目指して、このたび関係者や一般市民の方々が一堂に会する公開シンポジウムを開催します。ぜひご参加ください。

シンポジウムの前に、医療通訳者、コミュニケーション支援者、医療通訳に関心のある方などを対象とする交流セッションを右記の通り開催します。該当する方はぜひご出席ください(要事前申込)。

時間 11時50分~12時30分
場所 名古屋国際センター別棟ホール控室

基調講演 13:05~13:55

「日本の医療通訳のゆくえ ~医療通訳の現状と課題~

重野 亜久里 多文化共生センターきょうと 代表理事

京都市医療通訳派遣事業を担当。医療通訳者の養成派遣の経験やノウハウを活かして、全国各地の医療通訳研修などで講師として活躍。2014年には厚生労働省「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」にて「医療通訳育成カリキュラム基準」「医療通訳テキスト」の執筆、作成を担当。現在は、日本医療教育財団の「医療通訳技能認定試験」に関わる。

パネルディスカッション 14:20~16:15

■ パネラー

浅野 輝子 名古屋外国語大学現代国際学部 教授

カサノバ エクトル 産婦人科医師

葛 冬梅 中国語医療通訳者、東海外国人生活サポートセンター

黒田 薫子 スペイン語医療通訳者

小松 麻利奈 豊橋市民病院医療通訳者

コーディネーター/糸魚川 美樹 愛知県立大学外国語学部 准教授

あいち医療通訳システム推進協議会とは

「あいち医療通訳システム」を運営するため下記の団体が共同で設立した協議会です。
愛知県、県内全市町村、愛知県医師会、愛知県病院協会、愛知県歯科医師会、愛知県薬剤師会、愛知県看護協会、愛知県立大学、愛知大学、名古屋外国語大学、名古屋学院大学

交通アクセス ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

- 名古屋駅(JR、名鉄、近鉄、名古屋市営地下鉄)から徒歩7分
- 名古屋市営地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ
(名古屋国際センタービルと地下でつながっています)
- 名古屋バス「国際センター」下車すぐ
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

問合せ・シンポジウム参加申込先

愛知県立大学 学務課

〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻間1522番地3

TEL 0561-76-8832 (直通)

※土日・祝日を除く午前9時から午後4時まで

参加希望の方は

所属、氏名、連絡先と通訳を利用される方は利用言語、交流セッションに参加される方はその旨を記載の上、E-mail又はFAXで愛知県立大学 学務課までお申し込みください。

E-mail com-medico@bur.aichi-pu.ac.jp

FAX 0561-64-1105